

雲を見よう

3月になると、くらくてさむい日もだんだんへり、あたたかさをかんじる日が多くなってきます。そんな季節をまっていたかのように、空にうかぶ雲も、今までのくらしい雲から、高い空を流れる、白くてうすい雲などにバトンタッチをします。

雲のしょうたい

ところでみなさん、雲のしょうたいを知っていますか？

雲は、雲つぶとよばれているもののはつまりです。雲つぶは雨つぶと同じように水でできています。

雲つぶと雨つぶのちがいは、その大きさにあります。

雨つぶの大きさはふつう、1ミリくらい、いっぽう雲つぶの大きさは0.01ミリ、雨つぶの大きさの百分の一くらいしかありません。

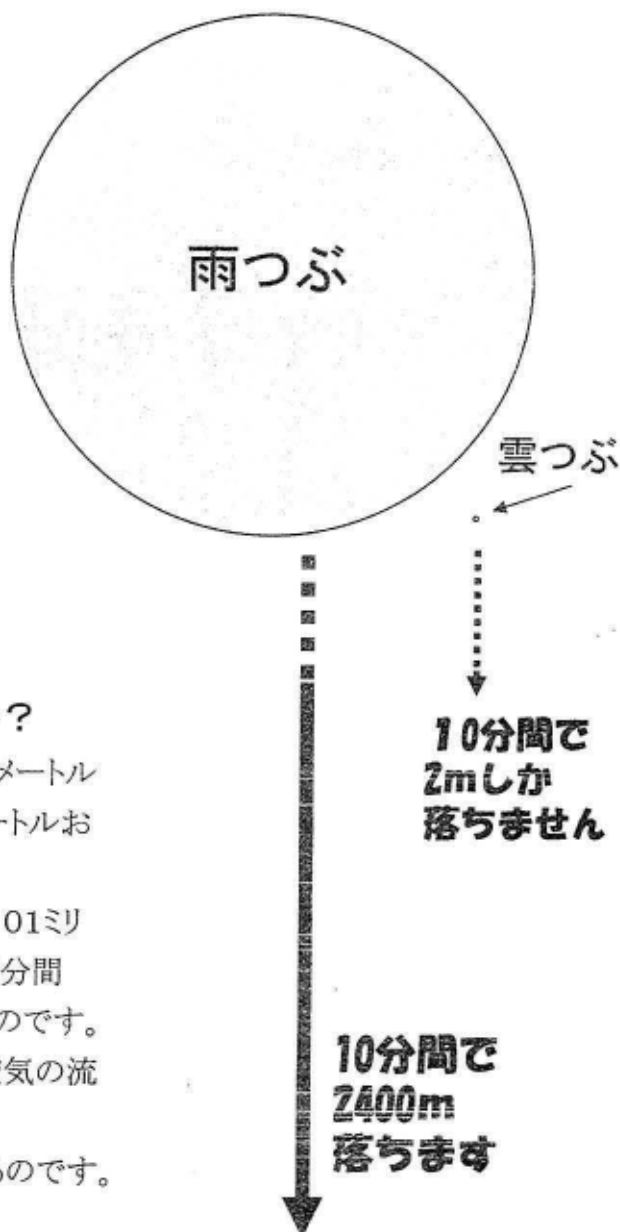
雲はどうして、うかんでいるの？

大きさが1ミリの雨つぶは1秒間に4メートル落ちます。これは10分間では2400メートルおちることになります。

いっぽう雲つぶは、その大きさが0.01ミリだと、1秒間に3ミリしか落ちません。10分間たってもわずか2メートルしか落ちないのです。

また、ふつう雲の下には上に向かう空気の流れがあり、ますます落ちないのです。

そこで雲は、うかんでいるように見えるのです。

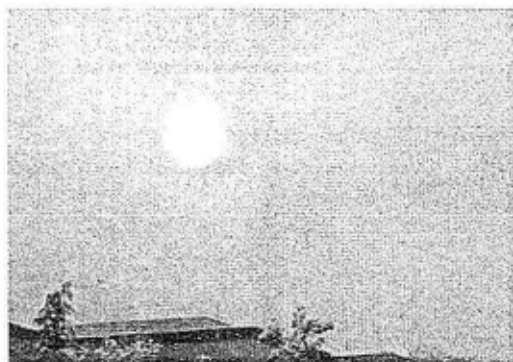


いろいろな雲

雲は、そのでき方や、できる高さによって、大きく10しゅるいにわけられますが、こんかいは、春によくみえる雲を見てみましょう。

おぼろ雲

空のやや高いところのできる雲です。この雲をとおして太陽や月を見ると、ぼんやりかすんで見えます

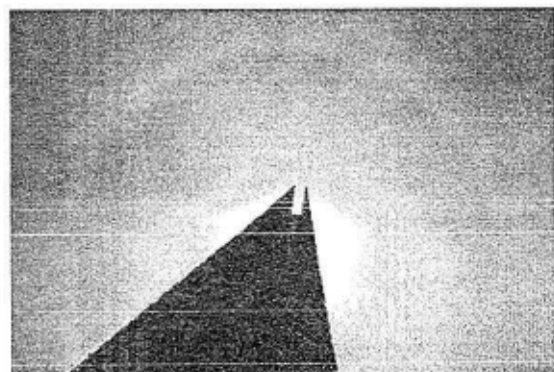


すじ雲

空のいちばん高いところのできるまっしろな雲で、鳥の羽の形やハケではいたような形などをしてしています。この雲のように高いところにあるものは水ではなく小さな氷でできています。

うす雲

空をベールのようにおおう雲です。小さな氷に太陽の光がまげられて「かさ」ができます。「かさ」は太陽のまわりにでき、また色もきれいではないので気がつかない人が多いようです。



(吉村博儀)



富山市科学文化センター

〒939-8084 富山市西中野町1-8-31 (TEL.076-491-2123)

<http://www.tsm.toyama.toyama.jp>

平成16年3月1日発行

